

## 鹿屋市立細山田小学校 特別の教育課程の実施状況等について

## 1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

## 鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」

子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒につくり、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」の育成を目指します。

## 3 本校の教育目標

大きな理想をもち、知徳をみがき、郷土細山田をおこす児童の育成

## 4 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

## (1) 1・2 年生の取組

絵本の読み聞かせをしたり、あいさつや数字・果物や動物など身近な物を英語で話したりする活動を通して、外国語に親しみを持たせたり、文化の多様性に興味を持たせたりすることで、誰とでも仲良くしようという態度を育成した。

## (2) 3・4 年生の取組

曜日や時間、アルファベットを学習し、学んだ英単語や表現を活かして、英語で友達と話したり、ALT と英語でコミュニケーションを取ったりすることで、話すことを中心としたコミュニケーション能力の素地を養った。

## (3) 5・6 年生の取組

自分のことを英語で表現する活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養った。また、聞いたり話したりするだけでなく、読んだり書いたりすることも含め、中

等教育での英語科につながる基礎を養った。

(4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

中学校の教員が6年生の授業に入り、共通理解・共通実践のもと指導が行えた。

(5) 校内研修体制について

6年生の英語圏公開授業に向けた取組の確認や、授業進行などの計画について検討している。

## 5 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	88.6%	78.1%	71.4%	67.9%	66.7%	50.0%
どちらかという楽しい	8.6%	18.8%	17.9%	25.0%	29.6%	28.6%
あまり楽しくない	2.9%	3.1%	7.1%	3.6%	0%	17.9%
楽しくない	0%	0%	3.6%	3.6%	3.7%	3.6%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
57.1%	42.8%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・楽しく英語学習！ゲームをする，表現する機会をつくる
- ・「チャレンジしよう」と呼び掛けている。
- ・英語での指示を心掛け，クラスルームイングリッシュから英語に親しむ。
- ・一つ一つの指示を英語で明確に。
- ・ALTの先生の英語が分からない時には日本語で説明せず，ジェスチャー等を用いての理解を促す等，言語と表現の幅を広げ，楽しむ工夫。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは，英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
61.8%	29.8%	7.3%	1.1%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・楽しみながら取り組んでくれたらよいと思う。
- ・リスニングができるようになるとよいと思う。
- ・早い年齢から英語に慣れ親しみ，英語に対する苦手意識を持たず育ててほしい。

- ・英語で伝えることができる嬉しさ、喜びを学び、体験してほしい。
- ・英語を楽しんで好きになってくれたらと思う。
- ・基本的なコミュニケーションの取り方を学んでほしい。
- ・英語に触れ、楽しみながら英語が少しでも話せるようになってほしい。
- ・英語の力を早いうちから身に付けてほしいと思う。
- ・恥ずかしがらずにコミュニケーションをとることができるようになってほしい。
- ・外国の方も身近に多くなってきているので、英語が大切だと思う。
- ・中学校からの英語教育の準備が少しでもできるとよいと思う。

#### (4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
80%	0%	20%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述，一部抜粋)

- ・好奇心から学ぶことによる学習効果を高めてほしい。
- ・英語に対するアレルギーを持つ前に、楽しいと教えてほしい。
- ・英語を話すことで、世界とつながることができることを教えてほしい。
- ・日常で使う簡単な英語を知る機会になってほしい。(発音等を含む。)
- ・簡単な英会話ができるようになればよい。(書きをあまり求めない。)
- ・達成できそうな目標設定をし、できることを少しずつ重ねていくことが大切。
- ・世界に通用する人材の育成、学びは早い方がよい。
- ・低学年においては、国語科を優先したほうがよいのではないか。

## 6 令和4年度の取組について

### (1) 1・2年生の取組

絵本の読み聞かせをしたり、あいさつや数字・果物や動物など身近な物を英語で話したりする活動を通して、外国語に親しみを持たせたり、文化の多様性に興味を持たせたりすることで、誰とでも仲良くしようという態度を育成する。

### (2) 3・4年生の取組

曜日や時間、アルファベットを学習し、学んだ英単語や表現を活かして、英語で友達と話したり、ALT と英語でコミュニケーションを取ったりすることで、話すことを中心としたコミュニケーション能力の素地を養う。

### (3) 5・6年生の取組

自分のことを英語で表現する活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養った。また、聞いたり話したりするだけでなく、読んだり書いたりすることも含め、中等教育での英語科につながる基礎を養う。

- (4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について  
中学校の教員による6年生への飛び込み授業や中学校に出向いての体験等(6年生)を通して共通理解・共通実践のもと指導を行う。
- (5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について  
5・6年生を中心に代表を選抜し，JTE・担任・教科主任と協力してスキット内容を決定し，計画的な練習等への取組を行う。
- (6) グローカル・イングリッシュキャンプについて  
児童だけでなく，保護者への周知を行うなどして，上学年を中心に参加する児童を募る。
- (7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について  
可能な限り9月から1ヶ月の間で授業に招待し，遠隔または交流授業を行う。
- (8) スピーキングクエストの実施について  
担任と連携して準備等を行い，6年生による実施を行う。
- (9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について  
夏休みの研修で，授業の流し方や評価の仕方等，講師を招聘しての職員研修を行う。